

- 問1 日本の選挙における年代別の意識や行動について述べた文として、統計的な傾向から最も適切なものはどれですか。18歳から60歳代以上を対象とした調査において、60歳代の投票率が約79%と全年代で最も高く、政治への関心が「わからない」と答えた人の割合が0.3%と最も低い数値であったことを踏まえて選んでください。（2026年 奈良県公立入試 類似）
1. 政治への関心の高さと、実際の投票率の間には全く関連性が見られない。
 2. 若い年代ほど、政治的関心が強く積極的に投票へ行く傾向がある。
 3. 高い年齢層ほど、政治的関心が強く投票率も高くなる傾向がある。
 4. すべての年代において、実際の投票率が6割を下回ることはない。
- 問2 「一票の格差」が拡大した状態で選挙を行うことが、日本国憲法に違反する可能性があると考えられる最大の理由は、憲法が保障するどのような原則に反するからですか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）
1. 法の下での平等
 2. 国権の最高機関
 3. 地方自治の原則
 4. 基本的人権の尊重
- 問3 公職選挙法に基づく選挙において、選挙区ごとの有権者数の違いにより、議員1人あたりの有権者数に差が生じ、1票が持つ影響力（重み）が不平等になる問題を何といいますか。（2016年 高知県公立入試 類似）
1. 定数削減問題
 2. 一票の格差
 3. 比例代表の不均衡
 4. 投票率の格差
- 問4 ある年の衆議院議員選挙の統計において、議員1人あたりの有権者数が東京1区では約48万人、鳥取1区では約24万人となっていました。この2つの選挙区における一票の価値（重み）の比較について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）
1. 鳥取1区の一票の価値は、東京1区の一票の価値の約2倍である。
 2. 東京1区の一票の価値は、鳥取1区の一票の価値の約2倍である。
 3. 一票の価値は投票率によって決まるため、有権者数の差は関係ない。
 4. どちらの選挙区も選出される議員は1人であるため、一票の価値は等しい。
- 問5 選挙の原則のうち、財産や性別によって投票権を制限しない「普通選挙」と、すべての投票者の価値を均等に扱う「平等選挙」に関する説明として、現代の日本の課題を含めて述べたものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 鳥取県公立入試 類似）
1. 普通選挙は有権者が候補者を直接選ぶ仕組みを指し、平等選挙は開票作業をすべての政党が共同で行うことで不正を防ぐ仕組みを指している。
 2. 普通選挙は誰が誰に投票したかを秘密にすることを保障し、平等選挙は選挙運動にかかる費用を国がすべて負担することを義務付けている。
 3. 普通選挙は一定の納税額がある者へのみ権利を認める制度であり、平等選挙は都市部と農村部で議員定数を同じにすることを目的としている。
 4. 普通選挙によって全ての成人に選挙権が認められているが、平等選挙の観点からは地域間の人口差による「一票の格差」の是正が重要な課題となっている。
- 問6 ある選挙区において、比例代表制のドント式を用いて7つの議席を決定します。3つの政党の得票数が、D党：1260票、E党：720票、F党：600票であった場合、各政党への議席配分として正しい組み合わせを選びなさい。（2022年 福島県公立入試 類似）
1. D党：5議席、E党：1議席、F党：1議席
 2. D党：3議席、E党：2議席、F党：2議席
 3. D党：3議席、E党：3議席、F党：1議席
 4. D党：4議席、E党：2議席、F党：1議席
- 問7 日本の選挙制度において、小選挙区制と比較した際の比例代表制（ドント方式等による配分）の大きな特徴や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
1. 得票率と議席率の乖離を抑えることで、少数意見を議会に反映させやすくし、死票を減らす。
 2. 候補者の個人名による投票を重視することで、政党の力よりも人物本位の政治を実現する。
 3. 選挙区の面積を小さく設定することで、候補者と有権者の距離を縮め、地域密着型の政治を行う。
 4. 最多得票者1人のみを選出することで、特定の政党が安定した過半数の議席を確保しやすくする。
- 問8 衆議院議員総選挙の投票所では、国政を担う議員を選ぶ投票だけでなく、司法に関わる重要な手続きが同時に行われます。投票手順に沿って、小選挙区と比例代表の投票用紙交付に続いて行われる審査として正しいものを選択してください。（2025年 栃木県公立入試 類似）
1. 日本銀行総裁の任命是非審査
 2. 地方自治体の首長解職請求審査
 3. 内閣総理大臣の信任投票審査
 4. 最高裁判所裁判官国民審査
- 問9 2016年の参議院議員選挙では、新たに選挙権を得た18歳から19歳の投票率（約44.7%）に比べ、20歳から29歳の投票率（約31.3%）が極めて低く、全世代で最低となりました。このような「若年層の有権者数が少なく、投票率も低い」という状況が日本の政治に及ぼす影響として、最も適切な説明を選びなさい。（2019年 茨城県公立入試 類似）
1. 投票率が低い世代の意見を反映させるために、若者向けの政策が自動的に最優先で議論されるようになる。
 2. 有権者数が多く投票率も高い高齢者層の意見が、予算配分や政策決定において優先されやすくなる。
 3. 18歳から19歳の投票率が全世代で最も高いため、若者の意見はすでに十分に政治に反映されている。
 4. 有権者数が少ない世代が投票に行かないことで、政治家がその世代の不満を察知し、若者のための改革が加速する。
- 問10 2016年に施行された改正公職選挙法により、選挙権を持つ年齢が変更されました。この改正によって新たに有権者に加わった年齢層と、その目的の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。（2017年 三重県公立入試 類似）
1. 20歳以上の男女に限定し、責任ある大人としての判断をこれまで以上に厳格に求めること
 2. 16歳以上のすべての国民を加え、義務教育を終えた主権者としての責任を持たせること
 3. 25歳以上の被選挙権年齢に合わせ、投票だけでなく立候補の機会も同時に拡大すること
 4. 18歳と19歳の若者を加え、彼らの意思を国政に反映させ、政治への関心を高めること
- 問11 日本の衆議院選挙や参議院選挙の比例代表制において、各政党の得票数を「1、2、3…」という整数で順に割り、その計算結果（商）が大きい順に議席を割り当てる計算方式を何と呼びますか。（2016年 山口県公立入試 類似）
1. ドント式
 2. 拘束名簿式
 3. 単純多数決方式
 4. 小選挙区制
- 問12 選挙制度において、小選挙区制と比較した際の比例代表制の長所として、背景を含めて説明したものを選びなさい。（2020年 岐阜県公立入試 類似）
1. 選挙区が広くなるため、選挙費用の削減や候補者によるきめ細かな活動が期待できる。
 2. 候補者個人の人気が直接当落に反映されるため、有権者が人物重視で投票できる。
 3. 得票数に応じて議席が配分されるため、死票が減り、少数派の意見が議席に結びつきやすくなる。
 4. 1つの選挙区から1人の当選者を決めるため、特定の政党が安定した過半数を得やすくなる。
- 問13 日本では、第二次世界大戦後の1946年に行われた選挙から有権者の割合が急増しました。この時、新たに確立された参政権の条件として正しいものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）
1. 満25歳以上の男子のみ
 2. 満20歳以上のすべての国民
 3. 満25歳以上のすべての国民
 4. 直接国税15円以上を納める満25歳以上の男子